

施策	評価の視点	評価段階	個別評価	施策評価	コメント
1 「安全」で安心して飲める水道					
(1) 地下水の保全と適正な利用	①事業計画の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	B	B	井戸の更新において、一部遅れが生じた。
	②適正揚水量の管理の状況	[適切に管理：A、一部問題あり：B、全体的に問題あり：C]	A		適正揚水量を上回ることはなかった。
	③井戸の定期点検の実施状況	[点検実施：A、部分的に実施：B、点検未実施：C]	A		水位測定を包括委託で実施した。
(2) 水質監視体制の強化	①水質検査計画と水質検査の実施状況	[計画的に実施：A、一部問題あり：B、未実施：C]	A	A	平成30年度水質検査計画に基づき、水質検査を実施した。
	②残留塩素濃度の低減のための取り組み	[適切に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		県水は、大久保浄水場より適正な残留塩素で配水されており、井水についても、県水受水残塩の数値を超えないよう配水した。
(3) 水安全計画の策定	①水安全計画の策定状況	[実施済み：A、実施の検討中：B、未実施：C]	A	A	水安全計画は策定済みであり、内容の見直し事項はなかった。
(4) 直結給水方式の拡大等	①直結給水の進捗状況	[適切に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	窓口において、直結給水方式の普及・啓発を行った。
	②貯水槽水道指導の進捗状況	[適切に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		書面、口頭による指導、広報紙への掲載などで周知した。
2 災害時でも信頼できる「強靱」な水道					
(1) 水源計画の検討	①水源計画の検討状況（H32以降計画）	[実施済み：A、実施の検討中：B、未実施：C]	B	B	5号、7号、8号取水井の修繕完了後のH32以降の計画策定を目指すことを検討した。
(2) 合理的な施設更新	①機電設備の更新における施設規模の妥当性	[適正である：A、一部不備がある：B、見直しが必要：C]	A	A	3か年計画の新規防災倉庫・電気棟の更新工事が完了した。
	②機電設備の水害対策の実施状況	[確保されている：A、一部不備がある：B、見直しが必要：C]	A		新規防災倉庫・電気棟完成により、受変電設備を高所に移設し水害対策がなされた。
	③機電設備のバックアップ能力の確保状況	[確保されている：A、一部不備がある：B、見直しが必要：C]	A		受変電設備を高所に移設しバックアップ能力の確保がなされた。
(3) 老朽設備・老朽管の更新	①機電設備の事業計画の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A	A	西部浄水場受変電設備及び自家発電設備の更新工事が完了した。
	②一般管路の更新事業の実施状況	[問題なし：A、一部問題あり：B、問題あり：C]	A		実施済。なお、基幹管路の耐震化を重点整備としている。
	③拡張計画の実施状況	[問題なし：A、一部問題あり：B、問題あり：C]	A		土地区画整理事業の区画街路築造進捗に応じて配水管新設 延長642.4m
(4) 基幹施設・基幹管路の耐震化	①導水管の耐震化計画の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A	B	
	②最重要基幹管路の耐震化計画の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		
	③その他基幹管路の耐震化計画の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	B		耐震化率目標値85.1%に対し、実績値71.2%で到達できなかった。
(5) バックアップ機能の充実	①幹線管路のループ化の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A	A	配水管のループ化 延長941.6m
	②西部浄水場電気棟が耐震化、浸水対策の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		電気棟更新工事が完了した。
(6) ハルブ等の点検・整備	①バルブ等の点検の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	B	断水作業時に作動状況を確認した。
	②西部浄水場緊急遮断弁更新の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	C		単体での更新が技術的に困難なため、銅板製配水池更新時の対応することとした。
(7) 応急給水・応急復旧体制の強化	①危機管理マニュアルに基づく職員研修の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	B	上下水道部応急給水訓練（6月） 戸田市防災訓練（9月）
	②関係基幹と連携が図れた応急給水訓練の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		上下水道部応急給水訓練（6月）4会場にて給水訓練実施 戸田市防災訓練（9月）
	③危機管理マニュアルの見直し状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	B		人事異動に伴う組織連絡網を変更した。
(8) 災害時における関係者及び近隣事業体との連携強化	①広域連携の検討状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	上下水道事業包括委託受託者のグループ構成員による全国からの支援展開の体制づくりができています。
(9) 連絡管整備の可能性の検討	①連絡管整備の検討状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	B	B	隣接事業体と具体的な取り組みの協議までは至らなかった。
3 お客さまと築く「持続」可能な水道					
(1) お客さまへの情報提供の充実	①紙面やHPによる情報提供の充実	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	上下水道事業広報紙【みずのめぐみ】を年度内3回発行できた。
	②水道事業主催のイベントの実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		水道週間(6/1～7)において展示を行った。
	③施設見学会の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		施設見学会（G&U技術センター H30.7.24）を実施した。
(2) お客さまニーズ把握によるサービスの充実	①アンケート調査の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	B	施設見学会においてアンケートを実施した。
	②経営審議会の開催状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		4回開催した。
	③市民懇談会の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	C		未実施。実施を検討していきたい。
(3) 健全な経営と事業運営の維持	①総収支比率	[計画値どおり：A、計画値とやや乖離がある：B、計画値と乖離がある：C]	A	A	純利益を計上出来る黒字経営となり、計画を達成しました。
	②累積欠損金比率	[計画値どおり：A、計画値とやや乖離がある：B、計画値と乖離がある：C]	A		純利益を計上出来る黒字経営となり、累積欠損金は発生しませんでした。
	③料金回収率	[計画値どおり：A、計画値とやや乖離がある：B、計画値と乖離がある：C]	A		事業の効率的な運営により、計画を達成しました。
	④給水収益に対する企業債残高の割合	[計画値どおり：A、計画値とやや乖離がある：B、計画値と乖離がある：C]	A		計画的な企業債の借入と償還を行ったことで計画を達成しました。
(4) 事務事業の効率化	①新たな業務委託の検討状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	包括委託を実施している。
(5) 人材育成と技術者の確保	①内部研修の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	日本水道協会茨城県支部中央ブロック視察研修講師（H30.11.6）実施
	②外部研修の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		平成30年度日本水道協会埼玉支部技術研修会 他8回参加
(6) 情報の共有化	①情報システムの活用状況	[積極的に活用：A、部分的に活用：B、全く活用していない：C]	A	A	適正に運転監視システム、管網管理図情報システム、浄水場設備情報管理システムの活用している。
(7) 省エネルギー対策の検討	①高効率機器・省エネルギー機器の導入状況	[更新に併せて導入：A、部分的に導入：B、導入していない：C]	A	A	中部及び東部浄水場配水ポンプオーバーホールを実施し、機能低下を防止した。
	②太陽光発電設備の導入の検討	[検討済み：A、検討中：B、未検討：C]	A		西部浄水場電気設備工事において太陽光発電設備が完成した。
(8) 建設副産物のリサイクル推進	①建設副産物のリサイクル状況	[リサイクル率100%：A、100%未満：B、0%：C]	A	A	埋戻し材や路盤材などに再生材を採用した。
	②建設副産物の発生抑制状況	[取り組み実績有り：A、取り組み検討中：B、未検討：C]	A		CREDASを活用し建設副産物の再利用を行っている。
(9) 老朽管解消による有効率の向上	①有効率の向上	[有効率96.7%以上：A、95%以上：B、95%未満：C]	B	B	実績として95.9%であった。
	②漏水調査の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		戸別音聴調査42,479戸 弁栓音聴調査322.0km
	③私道内給水管整備事業の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		ポリエチレン管φ75 47.5m

施策	評価の視点	評価段階	個別評価	施策評価	コメント
1 「安全」で安心して飲める水道					
(1) 地下水の保全と適正な利用	①事業計画の実施状況	[計画的に実施:A、計画に遅れがある:B、未実施:C]	B	B	井戸の更新において、一部遅れが生じた。
	②適正揚水量の管理の状況	[適切に管理:A、一部不適合:B、全体的に問題あり:C]	A		適正な揚水量を維持している。
	③井戸の定期点検の実施状況	[点検実施:A、部分的に実施:B、点検未実施:C]	A		2,3,6号井戸 遠方監視制御装置部品交換した。
(2) 水質監視体制の強化	①水質検査計画と水質検査の実施状況	[適切に管理:A、一部不適合:B、全体的に問題あり:C]	A	A	H31年度水質検査計画に基づき、水質検査を実施した。
	②残留塩素濃度の低減のための取り組み	[適切に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A		県水は、大久保浄水場より適正な残留塩素で配水されており、井水についても、県水受水残塩の数値を超えないよう配水した。
(3) 水安全計画の策定	①水安全計画の策定状況	[実施済み:A、実施の検討中:B、未実施:C]	A	A	策定済の本計画を適切に運用した。
(4) 直結給水方式の拡大等	①直結給水の進捗状況	[適切に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A	A	窓口において、直結給水方式の普及・啓発を行った。
	②貯水槽水道指導の進捗状況	[適切に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A		書面、口頭による指導、広報紙への掲載などで周知した。
2 災害時でも信頼できる「強靱」な水道					
(1) 水源計画の検討	①水源計画の検討状況（H32以降計画）	[実施済み:A、実施の検討中:B、未実施:C]	B	B	5号、7号、8号取水井の修繕完了後のH32以降の計画策定を目指すことを検討した。
(2) 合理的な施設更新	①機電設備の更新における施設規模の妥当性	[計画的に実施:A、計画に遅れがある:B、見直しが必要:C]	A	A	西部浄水場次亜塩素酸注入設備を運転状況にあったポンプに更新した。
	②機電設備の水害対策の実施状況	[計画的に実施:A、計画に遅れがある:B、見直しが必要:C]	A		水害対策を考慮した西部浄水場 配水ポンプ及び関連電気設備の更新基本設計業務委託した。
	③機電設備のバックアップ能力の確保状況	[計画的に実施:A、計画に遅れがある:B、見直しが必要:C]	A		水害対策を考慮した西部浄水場 配水ポンプ及び関連電気設備の更新基本設計業務委託した。
(3) 老朽設備・老朽管の更新	①機電設備の事業計画の実施状況	[計画的に実施:A、計画に遅れがある:B、未実施:C]	A	A	西部浄水場 配水ポンプ及び関連電気設備の更新基本設計業務委託実施した。
	②一般管路の更新事業の実施状況	[計画的に実施:A、計画に遅れがある:B、未実施:C]	A		配水管更新 411.6m
	③拡張計画の実施状況	[計画的に実施:A、計画に遅れがある:B、未実施:C]	A		土地区画整理事業の区画街路築造進捗に応じて配水管新設 延長55.1m
(4) 基幹施設・基幹管路の耐震化	①管路の耐震化率(%)	[計画的に実施:A、計画に遅れがある:B、未実施:C]	A	B	51.6%
	②基幹管路【口径300mm以上】の耐震化率(%)	[計画的に実施:A、計画に遅れがある:B、未実施:C]	B		耐震化率目標値74.8%に対し、実績値72.3%であり目標に到達できなかった。 (国道298号線の横断箇所について、技術的困難であったため工事を見送ったことが要因)
	③基幹管路【口径200mm以上】の耐震化率(%)	[計画的に実施:A、計画に遅れがある:B、未実施:C]	B		
(5) バックアップ機能の充実	①幹線管路のループ化の実施状況	[計画的に実施:A、計画に遅れがある:B、未実施:C]	A	A	
	②西部浄水場電機棟が耐震化、浸水対策の実施状況	[計画的に実施:A、計画に遅れがある:B、未実施:C]	A		西部浄水場での自家発電設備の更新が完了
(6) ハルブ等の点検・整備	①バルブ等の点検の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A	B	断水作業時に作動状況を確認した。*
	②西部浄水場緊急断弁更新の実施状況	[計画的に実施:A、計画に遅れがある:B、未実施:C]	B		単体での更新が技術的に困難なため、鋼板製配水池更新時に対応することとした。
(7) 応急給水・応急復旧体制の強化	①危機管理マニュアルに基づく職員研修の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A	B	上下水道部応急給水訓練（6月） 戸田市防災訓練（9月）
	②関係基幹と連携が図れた応急給水訓練の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A		上下水道部応急給水訓練（6月） 戸田市防災訓練（9月）
	③危機管理マニュアルの見直し状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	B		人事異動に伴う組織連絡網を変更した。
(8) 災害時における関係者及び近隣事業者との連携強化	①広域連携の検討状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A	A	上下水道事業包括委託受託者のグループ構成員による全国からの支援展開の体制づくりができています。
(9) 連絡管整備の可能性の検討	①連絡管整備の検討状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	C	C	新型コロナウイルスの影響により、隣接事業者との協議ができなかった。
3 お客さまと築く「持続」可能な水道					
(1) お客さまへの情報提供の充実	①紙面やHPによる情報提供の充実	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A	A	上下水道事業広報紙【みずのめぐみ】を年度内3回発行してきた。
	②水道事業主催のイベントの実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A		水道週間(6/1~7)において展示を行った。
	③施設見学会の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A		施設見学会 新三郷浄水場 (R1.7.23)実施。
(2) お客さまニーズ把握によるサービスの充実	①アンケート調査の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A	B	施設見学会においてアンケートを実施した。
	②経営審議会の開催状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A		1回開催した。
	③市民懇談会の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	C		未実施。※今後、実施方法について検討する必要がある。
(3) 健全な経営と事業運営の維持	①総収支比率	[計画値どおり:A、計画値とやや乖離がある:B、計画値と乖離がある:C]	A	A	純利益を計上出来る黒字経営となり、計画を達成しました。
	②累積欠損金比率	[計画値どおり:A、計画値とやや乖離がある:B、計画値と乖離がある:C]	A		純利益を計上出来る黒字経営となり、累積欠損金は発生しませんでした。
	③料金回収率	[計画値どおり:A、計画値とやや乖離がある:B、計画値と乖離がある:C]	A		事業の効率的な運営により、計画を達成しました。
	④給水収益に対する企業債残高の割合	[計画値どおり:A、計画値とやや乖離がある:B、計画値と乖離がある:C]	A		計画的な企業債の借入と償還を行ったことで計画を達成しました。
(4) 事務事業の効率化	①新たな業務委託の検討状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A	A	次期包括委託事業の委託発注に向けた準備から契約締結後に順調に引継ぎが行われるまでの資料作成、進捗管理等の支援を目的とした次期包括委託支援業務委託の発注を実施した。
(5) 人材育成と技術者の確保	①内部研修の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	C	B	未実施。※今後、外部研修で習得した内容を内部研修を行うことで広く技術継承していく。
	②外部研修の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A		平成31年度地方公営企業新任担当者講習会 他15回参加
(6) 情報の共有化	①情報システムの活用状況	[積極的に活用:A、部分的に活用:B、全く活用していない:C]	A	A	工事などの問い合わせに活用した。
(7) 省エネルギー対策の検討	①高効率機器・省エネルギー機器の導入状況	[更新に併せて導入:A、部分的に導入:B、導入していない:C]	A	A	機能低下防止のため中部及び東部浄水場配水ポンプオーバーホールを実施した。
	②太陽光発電設備の導入の検討	[検討済み:A、検討中:B、未検討:C]	A		導入済み。
(8) 建設副産物のリサイクル推進	①建設副産物のリサイクル状況	[リサイクル率100%:A、100%未満:B、0%:C]	A	A	埋戻し材や路盤材などに再生材を採用した。
	②建設副産物の発生抑制状況	[取り組み実績有り:A、取り組み検討中:B、未検討:C]	A		CREDASを活用し、建設副産物の再利用を行っている。
(9) 老朽管解消による有効率の向上	①有効率の向上	[有効率96.7%以上:A、95%以上:B、95%未満:C]	B	B	実績として95.3%であった。
	②漏水調査の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A		戸別音聴調査42,479戸 弁柱音聴調査322.0km
	③私道内給水管整備事業の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	C		管路事業の取組みとして配水管の耐震化を最優先としたため、実施しなかった。

施策	評価の視点	H27		H28		H29		H30		達成度	必要性	新たな課題	今後の方向性
		個別評価	施策評価	個別評価	施策評価	個別評価	施策評価	個別評価	施策評価				
1 「安全」で安心して飲める水道													
(1) 地下水の保全と適正な利用	①事業計画の実施状況	C		A		A		B		一部達成	高い	取水井の更新方法の検証	継続実施
	②適正揚水量の管理の状況	A	B	A	A	A	A	A	B				
	③井戸の定期点検の実施状況	B		A		A		A					
(2) 水質監視体制の強化	①水質検査計画と水質検査の実施状況	A	A	A	A	A	A	A	A	達成	高い	県水・井水の配分調整にて残留塩素の適正化	継続実施
	②残留塩素濃度の低減のための取り組み	A	A	A	A	A	A	A	A				
(3) 水安全計画の策定	①水安全計画の策定状況	A	A	A	A	A	A	A	A	達成	高い	定期的な見直しが必要	継続実施
(4) 直結給水方式の拡大等	①直結給水の進捗状況	A	A	A	A	A	A	A	A	達成	やや高い	無し	継続実施
	②貯水槽水道指導の進捗状況	A	A	A	A	A	A	A	A				
2 災害時でも信頼できる「強靱」な水道													
(1) 水源計画の検討	①水源計画の検討状況（H32以降計画）	C	C	C	C	C	C	B	B	未達成	高い	取水井の運用	継続実施
(2) 合理的な施設更新	①機電設備の更新における施設規模の妥当性	A		A		A		A		達成	高い	管理棟及びポンプ室の更新・水害対策	継続実施
	②機電設備の水害対策の実施状況	B	B	A	A	A	A	A	A				
	③機電設備のバックアップ能力の確保状況	B		A		A		A					
(3) 老朽設備・老朽管の更新	①機電設備の事業計画の実施状況	C		A		A		A		達成	高い	施工順位の再検討	継続実施
	②一般管路の更新事業の実施状況	A	B	A	A	A	A	A	A				
	③拡張計画の実施状況	A		A		A		A					
(4) 基幹施設・基幹管路の耐震化	①導水管の耐震化計画の実施状況	A		A		A		A		一部達成	高い	施工順位の再検討	継続実施
	②最重要基幹管路の耐震化計画の実施状況	A	A	A	A	A	A	A	B				
	③その他基幹管路の耐震化計画の実施状況	A		A		A		B					
(5) バックアップ機能の充実	①幹線管路のループ化の実施状況	A	A	A	A	A	A	A	A	達成	高い	施工順位の再検討	継続実施
	②西部浄水場電気棟が耐震化、浸水対策の実施状況	A	A	A	A	A	A	A	A				
(6) バルブ等の点検・整備	①バルブ等の点検の実施状況	C		A		A		A		一部達成	やや高い	遮断弁については、鋼板製配水池の更新時に一括で実施	継続実施
	②西部浄水場緊急遮断弁更新の実施状況	C	C	C	C	C	C	C	C				
(7) 応急給水・応急復旧体制の強化	①危機管理マニュアルに基づく職員研修の実施状況	A		A		A		A		一部達成	やや高い	訓練の実施内容の検討 危機管理マニュアル改正の検討	継続実施
	②関係基幹と連携が図れた応急給水訓練の実施状況	A	A	A	B	A	B	A	B				
	③危機管理マニュアルの見直し状況	A		B		B		B					
(8) 災害時における関係者及び近隣事業者との連携強化	①広域連携の検討状況	B	B	A	A	A	A	A	A	達成	やや高い	無し	継続実施
(9) 連絡管整備の可能性の検討	①連絡管整備の検討状況	B	B	B	B	B	B	B	B	一部達成	高い	実施方法、隣接事業者との進め方	継続実施
3 お客さまと築く「持続」可能な水道													
(1) お客さまへの情報提供の充実	①紙面やHPによる情報提供の充実	A		A		A		A		達成	高い	無し	継続実施
	②水道事業主催のイベントの実施状況	A	B	A	A	A	A	A	A				
	③施設見学会の実施状況	C		A		A		A					
(2) お客さまニーズ把握によるサービスの充実	①アンケート調査の実施状況	A		A		A		A		一部達成	高い	市民懇談会の実施及び実施方法の検討	継続実施
	②経営審議会の開催状況	A	B	A	A	A	B	A	B				
	③市民懇談会の実施状況	C		A		B		C					
(3) 健全な経営と事業運営の維持	①総収支比率	A		B		A		A		達成	高い	料金改定の検討	継続実施
	②累積欠損金比率	A	A	A	B	A	A	A	A				
	③料金回収率	A		B		A		A					
	④給水収益に対する企業債残高の割合	A		B		A		A					
(4) 事務事業の効率化	①新たな業務委託の検討状況	A	A	A	A	A	A	A	A	達成	高い	次期契約の検討	継続実施
(5) 人材育成と技術者の確保	①内部研修の実施状況	B	B	B	B	B	A	A	A	一部達成	高い	継続的な研修の実施及び外部研修で取得した技術を内部研修にて継承すること。	継続実施
	②外部研修の実施状況	A	A	A	A	A	A	A	A				
(6) 情報の共有化	①情報システムの活用状況	B	B	A	A	A	A	A	A	達成	高い	無し	継続実施
(7) 省エネルギー対策の検討	①高効率機器・省エネルギー機器の導入状況	A	A	A	A	A	A	A	A	達成	高い	管理棟及びポンプ室の更新時に導入	継続実施
	②太陽光発電設備の導入の検討	A		A		A		A					
(8) 建設副産物のリサイクル推進	①建設副産物のリサイクル状況	B	B	B	B	A	A	A	A	達成	高い	無し	継続実施
	②建設副産物の発生抑制状況	A	B	A	B	A	A	A	A				
(9) 老朽管解消による有効率の向上	①有効率の向上	B		C		B		B		一部達成	高い	有効率向上のための漏水調査方法の検討	継続実施
	②漏水調査の実施状況	A	B	A	B	A	B	A	B				
	③私道内給水管整備事業の実施状況	C		A		A		A					